

※〇を付けてください。

愛媛県NPO法人活動助成事業申込書

基金登録番号	*基金の団体登録番号を記入してください。 152		
ふりがな 団体名	*登記上の正式名称(特定非営利活動法人/NPO法人の別等)を記入してください。 くまーのもりびと 特定非営利活動法人くまーの森びと		
ふりがな 代表者職氏 名	*職名 理事長	*氏名 かじかわ よしのり 梶川 嘉徳	設立年月日 (登記年月日) 平成30年5月2日
事務所 所在地			
担当者の 連絡先	*通常、連絡がとれる携帯番号やメールアドレスを記載してください。		
職員の状況	常勤職員	1人	団体の正会員数 20人
	その他職員	3人	
団体の活動 内容	<p>(主たる活動分野) *NPO法に規定する20分野の中から選択してください。 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動</p> <p>(これまでの活動内容の実績・成果) 愛媛県立上浮穴高等学校では、森林環境教育の一環として、平成28年度より久万高原に自生するクロモジからアロマオイル等を抽出し、それを利用した商品開発、イベント時の試験販売、研究発表等を行ってきました。</p> <p>最終的には地域の産業育成を目標として活動していますが、高等学校主体の場合、学業との両立の関係で、生産量を増やしながら事業を継続的に発展させる事は困難な状況でした。その問題を解決すべく、上浮穴高等学校と連携して森林環境教育および森林アロマ製品の研究・開発・製造・販売を行うNPO法人を設立いたしました。</p> <p>(先駆的な取り組みを行っていれば、具体的にご記入ください。) クロモジなどの森林植物や樹木からアロマオイルを抽出し、それらの効能・利用方法の研究や商品開発を進めている。</p>		
会報誌の有無	無		ホームページの有無 無
直近の収支決算	経常収入額 (a)	373,398円	
	経常支出額 (b)	407,636円	
	収支差額 (a-b)	△34,238円	
	次年度繰越正味財産額	△34,238円	

- ※ 団体が作成している広報誌・会報誌等を12部添付してください。
(作成していない場合は添付不要)
- ※ 適宜、行の幅を広げてください。
- ※ 次年度繰越正味財産額は、活動計算書の次年度繰越正味財産額を記入してください。
(必ずしも、収支差額とイコールになる必要はありません。)

(別紙2) ※貴法人の今年度における事業計画等(全事業)をご記入ください。

事業計画書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

1 事業の趣旨・目的

愛媛県立上浮穴高等学校開発のクロモジ・アロマ製品の製造販売を中心とする、住民参加及び地域資源活用の事業を行い、久万高原町の活性化に寄与することを目的とする。

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	対象者の範囲・人数	支出額(千円)
クロモジの精油精製技術の高度化事業	上浮穴高校で培った技術をもとに、さらなる効率的で純度の高い精油精製をめざし、試験蒸留を行う。	通年	久万高原町	4人		100
精油等を使った商品開発事業及び商品の販売、普及促進事業	クロモジ精油を使用し、商品開発を行い販売を行う。また社協等とも連携し、地元の福祉の分野での活用を推進する。	通年	久万高原町を中心とする県内一円	5人	100名	500
地域や関連機関との連携事業	上浮穴高校生向け森林環境教育事業。 一般参加者を対象とした森林環境教育事業	通年 年4回 程度	久万高原町	5人	上浮穴高校生 150名 一般参加者 100名	245

(別紙3) ※貴法人の今年度における収支予算(全額)をご記入ください。

収 支 予 算 書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
補助金	500,000	愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金 くまーるの森びと本会計繰入金
自己資金	100,000	
収 入 計	600,000	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
○賃金	100,000	アルバイト人件費@5,000×20人
○報償費	90,000	講師謝礼@30,000×3人
○旅費	110,000	講師旅費@10,000×3人 先進地研修旅費@10,000×8人
○需用費	200,000	印刷製本費@150,000 消耗品費@50,000
○役務費	50,000	通信運搬費@40,000 保険料@10,000
○使用料及び賃借料	50,000	会場使用料@20,000 レンタル料@30,000
その他	0	
計	600,000	

※上記のうち、今回申し込む補助対象経費について、区分欄に○印を記載すること。

(別紙4)

2019年度愛媛県NPO法人活動助成事業
【テーマ型・一般型協働事業助成】 *○を付けてください
企画提案書

令和元年年5月14日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

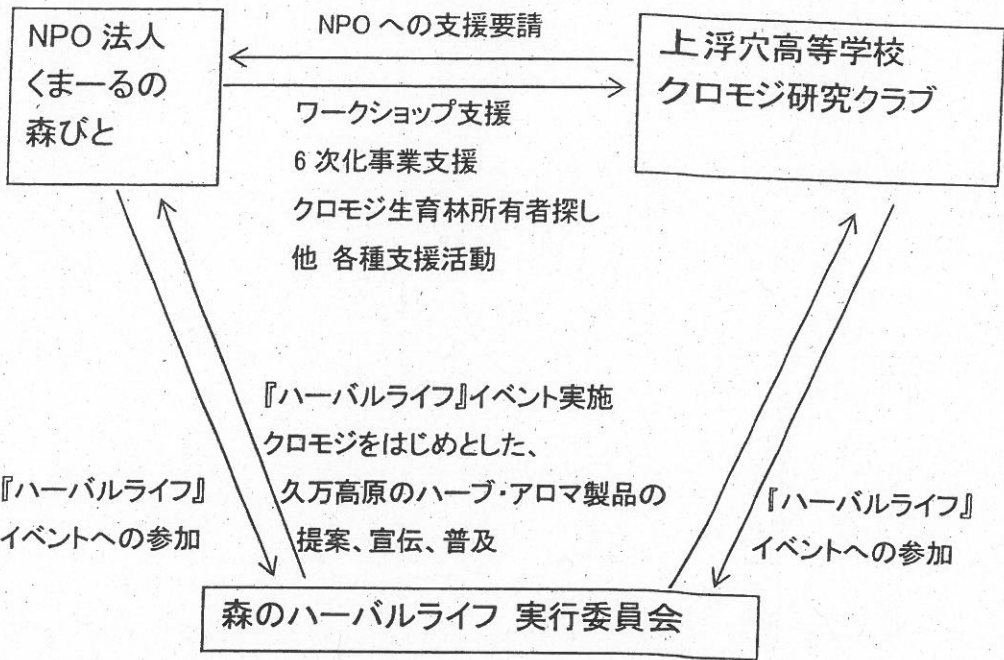
申請者 (事業実施 主体名)	法人名	*登記上の正式名称を記載してください 特定非営利活動法人くまーの森びと
提示テーマ		*テーマ型協働事業助成のみ記載してください 企業の強みを活かした社会貢献活動の促進について
連携・ 協働者		・主たる協働事業者を3者まで記載してください。 ・「種別」は、ボランティア団体、企業、地縁団体(町内会・自治会等)、公益法人、社会福祉法人、協同組合、 行政などの区分を記載してください。
	(1)	団体名 愛媛県立上浮穴高等学校 (種別) 学校
	(2)	団体名 森のハーバルライフ実行委員会 (種別) ボランティア団体
	(3)	
総事業費及び 希望する県補助金額		総事業費 600,000円 (うち希望補助金額 500,000円)
事業概要		申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 本法人は民間活力の特性である、企業の強みを活かして、平成28年度から研究開発されている愛媛県立上浮穴高校のクロモジ製品について、製造販売技術レベルアップを支援し、町行政や関連機関とも連携して、住民参加による地域資源活用の地域経済活性化事業を行う。 ① クロモジなどの森林アロマ製品の製造技術の高度化事業 ② 森林アロマ製品の商品開発研究及び販売促進、普及促進事業 ③ 地域団体や関連業種との連携事業 ④ 森林アロマによる久万高原町の経済・文化醸成に資する事業
事業実施期間		令和元年7月1日から令和元年11月30日まで

(事業計画等)

1 事業の 目的・目標	<p>(1) 事業の背景となる地域の課題を記載してください。 久万高原町は、クロモジなどの森林植物が豊富な地域であるが、これまでは十分利活用されていなかった。地元の愛媛県立上浮穴高等学校では、森林アロマ製品としての利活用に着目し、平成 27 年度から生徒 5 名による研究クラブを組織して、製造・販売の研究活動を開始した。 クロモジを中心とした森林アロマの研究・開発活動をより充実させて、地域へ普及させる為には、製造技術や商品開発コンサルティングなど、外部社会人協力団体との協働が必要となってきた。</p> <p>(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。 本法人は、この課題そのものを解決する NPO 法人であり、定款第 3 条で「この法人は、愛媛県立上浮穴高等学校開発のクロモジ・アロマ製品の製造販売を中心とする、住民参加及び地域資源活用の事業を行い、久万高原町の活性化に寄与することを目的とする。」と謳いこんである。本法人活動のすべてが、提案事業のすべてに関連合致するものである。</p> <p>(3) 事業の目標(期待される成果)を記載してください。 ①クロモジは、ハーブ・アロマとしての利用価値が高く、新しい久万高原町特産品となる。 ②地域資源を使った、6次産業(観光産業)育成の効果を発生できる。 ③上浮穴高校の研究活動の成果を、地域に対する社会的な貢献活動に発展させる。</p> <p>(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。 ①原材料を確保するため、地域住民からのクロモジ採取・提供の協力体制を構築する。 ②アロマ・ハーブ関連の事業者や専門家と連携して、有効性や利用方法を研究する。 ③地域の団体やハーバルグループと連携し、地域性を生かした観光産業化を進める。 ④上浮穴高校の森林環境教育活動を、地域で支援する体制を整える。</p>
2 役割分担 (事業実施体制)	<p>協働事業者との役割分担(具体的な連携内容)について記載してください。 ① 上浮穴高校においてはクロモジアロマの精油精製技術の高度化及び、関連製品の効能試験を実施する。 ② NPO においては、上浮穴高校への支援活動として、クロモジ生育林所有者探し、クロモジ採取・運搬作業などの実務協力を行う。また、地元の人びとが森林アロマの良さを実感するワークショップを開催し、地域への普及を進める。 ③ 「森のハーバルライフ実行委員会」に対しては、年 2 回開催のイベントにおいて、特設ブースにおける森林アロマ商品の試験販売、及び開発商品を使用したデモンストレーションを行う。</p>
3 事業スケジュール	<p>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でも結構です。)</p> <p>① 令和元年6月9日 森のハーバルライフイベントにて、試験販売・デモンストレーションを実施</p> <p>② " 7月 上浮穴高校主催のクロモジ体験スクールに同行協力</p> <p>③ " 7月 久万高原町住民対象 森林アロマ産業説明会のワークショップ開催</p> <p>④ " 10月 久万林業まつり会場で、上浮穴高校クロモジ研究クラブのワークショップ・デモンストレーションの実施</p> <p>⑤ " 11月 森のハーバルライフイベントにて、試験販売・デモンストレーションを実施</p>
4 事業終了後の 展開	<p>助成事業が終了した後、どのように活動(協働)を継続していくのかを記載してください。</p> <p>① 上浮穴高校においては、次年度以降も森林アロマ研究クラブの生徒を拡大募集し、複数研究生体制で研究活動を継承する。</p> <p>② 「森のハーバルライフ実行委員会」も今年 6 月のイベント「ハーバルライフ」が 5 回目の開催であるが、さらなる継続発展に努め、ハーブ及び森林アロマ関連事業の育成を目指す。</p> <p>③ 本法人「くまーの森びと」は、クロモジなどの森林アロマ産業の中核として、本助成事業終了後も一貫して、上浮穴高校の森林環境教育活動を支援し、関連商品の研究・開発を継続する。</p>

5 事業の
スキーム図

事業を実施していくうえで、協働先とどのように協働していくのか図で表してください



(法人名 特定非営利活動法人くまーの森びと)

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
補助金	500,000	*「愛媛県NPO法人活動助成事業費補助金」を加えてください。 くまーの森びと本会計繰入金
自己資金	100,000	
収 入 計	600,000	

2 支出の部

区 分	予 算 額(円)	摘 要
賃金	100,000	アルバイト人件費@5,000×20人
報償費	90,000	講師謝礼@30,000×3人
旅費	110,000	講師旅費@10,000×3人 先進地研修旅費@10,000×8人
需用費	200,000	印刷製本費@150,000 消耗品費@50,000
役務費	50,000	通信運搬費@40,000 保険料@10,000
使用料及び賃借料	50,000	会場使用料@20,000 レンタル料@30,000
その他	0	
支 出 計	600,000	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画（見込）を記載してください。
* 法人全体の事業計画ではないのでご注意ください。